

ANNUAL Report

2022-2023

2022年度 活動レポート



Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。

私がよく、かけがえのない場所。

みつかる

Encounter

つながる

Connect

よくなる

Transform

日本YMCA同盟中期計画の5本柱を見据えて、キリスト教使命を基盤に価値を高め、社会に必要とされる神戸YMCAを目指していきます。



1. Positive well-being

Positive well-being を提唱し、「みつかる。つながる。よくなっていく。」の体験提供を通して全人一貫教育の価値を最大化し、社会の健康を目指す。

2. Youth Empowerment

若い世代が夢を持ち、自己実現のために参画できる社会を創造する。
YMCAは若者の信頼できるパートナーとして、時代に適応し姿を変える。



3. Technology for social inclusion & diversity

インクルーシブな社会の実現のために、あらゆる場面でテクノロジーを活用し、多様なオンラインコミュニティのプラットフォームとなる。

4. Partnership

地域社会の課題に対し、企業や行政、地域の諸団体をパートナーとし、
時になかったスピード感をもって解決に臨む。



5. Change Agent

未曾有の世界危機において、YMCAに関わる一人一人がポジティブネットの実現のために地域、世界の課題に臨み、Change Agent (Global Servant) の育成に注力する。

ごあいさつ



神戸YMCA 会長
中道 基夫



神戸YMCA 総主事
井上 真二

2022年7月にデンマークで開催された第20回世界YMCA大会で採択されたビジョン2030や全国YMCAで推進している日本YMCA中期計画を踏まえながら、「神戸YMCA中期計画VISION2030」を策定しました。私たちの使命、私たちの願い、そして使命実現のための柱を基に各事業の2023年から2025年の3ヵ年計画を策定し、キリスト教使命を基盤に、我々の価値を高め、社会に必要とされるYMCAを目指していきます。また、2023年度の年間聖句を掲げ、神戸YMCAの全ての活動がポジティブネットを広げ、希望ある豊かな社会を創り出していきますので、皆様のご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

YMCAのロゴマークに込める思い



YMCAの正章

YMCAは1844年にロンドンで設立されました。シンボルマークの正三角形は、YMCAの人間観であるSpirit（精神）Mind（知性）Body（身体）の調和がとれた「全人としての成長」への願いを表しています。また、中央にJOHN17:21（ヨハネによる福音書17章21節）「すべての人を一つにしてください」と記されており、国、民族、宗教、性別の隔たりを超えた、共に生きる社会を作り出すことへの願いが示されています。



日本のYMCAのロゴマーク 「ポジティブY」

鳥が飛び立つ瞬間の姿をモチーフに、生命の息吹、未来へ向かう力、平和への想いを表現。アルファベットのYをかたどりながら、新しいスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」の3つの価値と、正章に示された「精神、知性、身体」を内包する構成になっています。

神戸YMCA2023年度年間聖句

「平和や互いの向上に役立つことを
追い求めようではありませんか。」

（ローマの信徒への手紙14章19節より）

神戸YMCA中期計画 VISION2030

<私たちの使命>

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

<私たちの願い>

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

<使命実現のための柱>

- ◆未来を創る子どもたちの育ちを支えます。
- ◆若者のつながりと関わりを拓けるプラットフォームの場をともに創ります。
- ◆ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。
- ◆未来の社会への責任を担います。

コロナ禍のこどもたち × 自然体験

新型コロナウイルス感染症拡大は「こどもたちの成長にどのような影響があるのか？」そんな悩みや不安を持つ方々と語りながら過ごしてきたこの2年。コロナ禍の生活は非日常的ですが、長期間にわたると、これが日常のように感じてしまうときもあるのではないのでしょうか。しかし、マスクを着用し、食事も距離をとりながらの日々は、やはりこどもたちにとっては当たり前の日常であってはなりません。

昨年夏にキャンプに行ったこどもたちは、「服も濡れていい?」「いいよ」「あの滝みたいなのところに行っていかな?」「いいよ」と徐々に不安を解消していき、30分も経たないうちに質問をするこどもたちはなく、夢中に川で遊び続けていました。飛び込むこどもたち、川の水を体でせき止めてダムをつくるこどもたち、川上へ上るこどもたち。一人ひとりの輝く目、生き生きとした表情は忘れることができません。

自然との共存は、人間が生きるための大きなテーマです。こどもたちは自由に遊ぶ権利があり、自然は人間性を取り戻す力をも備えていると感じています。



こどものスポーツ

今年の1月、2月にはこどもたちのスポーツの大会、発表会が数多く行われました。中西日本YMCA水泳大会、中西日本YMCAユースバスケットボール大会、YMCA淡路サッカーチャレンジカップ、YMCA体操発表会。一つひとつが年度の締めくくりとなるプログラムです。

どの大会、発表会も勝敗、タイム、点数で結果が表されます。結果はすべてこどもたちが受け止め、それが成長の糧になります。しかし結果だけでなく、日々工夫し、前向きに取り組み、スポーツを楽しむことが、こどもたちの大きな成長につながります。

体操発表会での場面です。短い演技時間ではありますが、その中で常に考えて演技をします。考えるという行為は、自分と話をする時間です。特に体操では「指先まで伸びているだろうか?」「着地の時、足が揃っているだろうか?」そんなことを考えます。審判員ら、外からの評価もありますが、こどもが自分と対話する、その目に見えない時間こそが、まさに成長している瞬間です。こどもたちがそれぞれのスポーツの醍醐味を味わいつつ成長する瞬間を共にできることに感謝です。



遊びの中で育つ

“カチカチ、カチカチ”、センター内に響く音。「こうしたら、うまく入るよ」など、友達と励まし合いながら、けん玉に取り組んでいるこどもたちがいます。

西宮市立用海留守家庭児童育成センターでは、入所時に「マイけん玉」をプレゼントしています。けん玉の持ち方や片づけ方などから始まり、とめけん、世界一周など、さまざまな技に挑戦しています。けん玉検定中は、友達が成功するよう、固唾をのんで手を合わせて祈りながら見て、成功したときには「やったー、すごい!」、失敗したときには、「あ～、もうちょっとやったな」と、一喜一憂しています。誰かと比べるのではなく、また、技の向上だけを目標にするのではなく、取り組む姿勢、友達との関係など、いろいろな視点をもって励んでいます。

「目標を達成するために頑張る力」「最後までやり遂げる力」「他人への思いやり」など、遊びの中で楽しみながら、自然と非認知能力が育っています。壁にぶつかったときでも諦めず、人のかかわりの中、解決のためにアイデアを出し、切り抜いていける人に成長してくれることを願っています。



支えられる側から支える側へ

あかしこども広場は、お腹の中にいる時（妊娠中）から高校生まで、幅広い年齢の子育てを地域でサポートする施設です。その中のひとつに「中高生世代交流施設 AKASHIユーススペース（ユースペ）」があります。ユースペの夏は、大学生と一緒に理科実験、すいか割り、音楽イベント、ムービーナイト、現役漁師さんと行く釣り体験、高校生保育講座など盛りだくさん！

オープンして6年目になる今年は、中高生だけでなく、中高生の時に利用していたこどもたちが大学生となりサポートする側になって、さまざまな場所で関わりを持ってくれました。また、年齢の近い大学生に会いにユースペを訪れる中高生もいました。

あかしこども広場で乳幼児期、小学生時代を一緒に過ごしたこどもたちが中高生となりユースペへ繋がり、支えられる側から支える側に。高校を卒業しても「いつでも帰ってこられる場所」として、あかしこども広場を守り続けたいと思います。大人になっていくまでずっとそばで関わることができることに喜びを感じ、運営を続けていきたいと思っています。



卒業制作模擬挙式

12月16日（金）、ホテル学科2年生による卒業制作模擬挙式が執り行われました。会場は今年で3度目となる日本キリスト教団神戸栄光教会様（神戸市中央区）でした。

学生が一から結婚式を創り上げるのが模擬挙式です。毎年設定はさまざまですが、今年のテーマは”国際結婚”でした。ホテル学科には留学生が在籍しています。新郎役に台湾出身の留学生、新婦役に日本人学生という設定でした。結婚式を「旅」で表現し、また日台の文化を織り交ぜた演出が非常に印象的でした。制作をする上で、自分たちが何を伝えたいのか、自分たちだから創れるものは何かを話し合った学生たち。行きついた先には、「国境を越えた人とのつながり」「偏見や差別の問題解決」でした。

神戸YMCA学院専門学校では国際性も大切にしています。在学中に築かれたその精神を卒業制作として形にし、参列者に伝えてくれました。全員が向き合い、当日はチームとなり集大成を発揮することができました。この経験を胸に、社会人になっても自信を持って進んでほしいです。



仲間とつくる学院祭

10月22日（土）、心地良い秋晴れの下、西神戸YMCA学園都市会館チャリティバザー「ワイワイまつり」が開催され、高等学院も学院祭として参加しました。3年生の「釣りぼり」、2年生の「わなげ」、1年生の「まとあて」のゲームコーナーには、たくさんのこどもたちの笑顔があふれました。ゲームを楽しむだけでなく、来ていただいた方に喜んでもらえるように、景品の一つひとつに心を込めて手作りました。竹（紙）ひこうき、アクセサリ、折り紙作品など。あまりに素敵なので、それらを目当てに何度も来てくれるこどもたちもいて、とても嬉しかったです。

生徒たちはそれぞれ、実際の接客から得た手ごたえが自信につながったり、普段はあまり話したことがなかった仲間たちと同じ空間を共有することで、少しずつ連帯感が感じられたりしたのではないのでしょうか。一つの行事の中での出会いを通して、まぶしく成長してゆく姿が見られました。また来年を楽しみにしています。



Amazon Cyber Robotics Challenge

Amazonが日本YMCA同盟と協働する新しい試みとして「Amazon Cyber Robotics Challenge」を開始しました。キャリア教育が進む中、児童養護施設の子どもたちがプログラミング体験をし、「テクノロジーで誰もが世界を変えられる」ということを感じるきっかけになればというプログラムです。

3月29日、神戸真生塾を会場に、関西圏初の企画として神戸YMCAが実施しました。プログラム実施にあたり、子どもたちのメンターとして神戸電子専門学校の協力を得ることができました。子どもたちは非常に積極的に取り組み、実施時間中、集中してプログラムに参加していました。

子どもたちからは「もっと続けたかった!」「最後のレベルまで進みたかった!」という声があり、施設長も「これからの時代の中でこのようなスキルが重要になってくると感じた」と話していました。今後も継続的な企画実施が求められるプログラムだと実感するものでした。

協力：日本YMCA同盟、神戸電子専門学校



台湾・高雄YMCAとオンライン交流

高雄YMCAとのオンラインによるWellness交流を実施しました。パートナーYMCAである高雄YMCAとは、コロナ禍においてもオンラインにて神戸YMCA学院専門学校との情報交換や英会話プログラムの交流会を実施してきました。今回は、高雄市にある左営スポーツセンターを見学しました。同センターはWorld Masters Games 2009の会場として建設され、最近リニューアルした施設です。この度、高雄YMCAが高雄市に指定管理者として新たに選ばれ、運営を始めました。総主事の蔡政甫（ツイ・ジェンフー）さん自ら案内してくださいました。

緑と池に囲まれた清潔でスタイリッシュな施設には、ファミリーで利用可能な卓球場、AIを搭載した最先端のトレーニングマシンが揃うジムエリア、人気のエクササイズ・空中ヨガやTRXの専用スタジオなど多彩な設備が整っていました。プールはさほど大きくないのですが、プログラムの質が高いと評判で、子どもの水泳教室が人気のようでした。日本のYMCAから学んだことを実践していると聞き、アクアティックプログラムの質が高いことを改めて感じました。キャンプリーダーのための教室やトランポリン専用の教室もあり、広場ではアルティメットの大会が予定されています。さまざまなプログラムを展開し、多世代が利用する、魅力あふれる場所でした。

施設の魅力だけでなく、高雄YMCAの皆さまの生き活きとした姿や素敵な笑顔がとても印象的でした。国は違っても、地域の人々が健康に、より良くなっていくことを共に目指していることを実感できる時間でした。高雄YMCAの皆さまと左営スポーツセンターで一緒に運動できる日を心待ちにしながら、今後も交流を続けていきたいと思えます。



2022年度のあゆみ ～4. Partnership～

インターナショナル・チャリティーラン開催!

11月23日（祝・水）にしあわせの村にて「第24回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022」を開催しました。「素晴らしい秋晴れのもと…」と秋の空を報告したいところですが、この日は朝から雨で、中止にしようか実施しようかとギリギリまで迷いましたが、実施しました。競技前の会場設営準備中には大雨になる時もありましたが、競技前は小降りに、競技中は雨が止むこともありました。

今年度も昨年度同様に午前中のみ開催で、コロナウイルス感染症対策を行いながら「3.5kmラン」「1.2kmラン」「1.2kmウォーキング」の3種目を行い、グループ参加・個人参加があり総勢151名のご参加がありました。ねずみの親子・お姫様・ミ〇オンなど様々な衣装をした参加があり大会を盛り上げてくれました。雨の中でしたが、子どもたち、参加者の皆さまの笑顔がたくさん見ることが出来ました。たくさんのご支援、ご協力をいただき心より感謝を申し上げます。



「食支援活動」支援団体としての働き

“食”をきっかけとして支援につなぐ活動を、神戸市の支援を受け、三宮会館、太山寺児童館、たかとり児童館で行いました。この活動は、2021年度初めに生活協同組合コープこうべから食を通じた生活困窮世帯への支援に関する相談を受けて、三宮会館のカレッジで留学生に対して、たかとり児童館と太山寺児童館ではひとり親家庭に対して、コープこうべからのお米をお贈りする活動を始めました。そのような中、神戸市からコロナの影響を受けて、生活が厳しい中、子育てをしている家庭に対する支援の協力依頼があったことから食を通じたつながり支援をスタートさせました。実施にあたっては、YMCAだけでなく、ワイズメンズクラブの協力を得、地元の自治会や近くにお住まいの方がボランティアとして参画していただきました。



この活動を通して、このコロナ禍によって収入が絶たれ、生活を大きく変えなければならないほど大きな影響があったと改めて実感を感じました。コロナ以前では、このような支援を受ける必要がない方にとっては、人に知られたくないとか支援を受けることにためらいを感じているなどのお話を伺いました。これは、経済的な困窮がさまざまな関係から切り離されることにつながると私たちに教えてくれました。また、ワイズメンズクラブやメネットの皆さまと利用者の方との関わりの中から食糧品日用品の配布だけでなく、子ども服の支援にも広がりました。

この活動を通して、YMCAがこのような生活が厳しい状況にある子育て世帯に対して支援する機会となり、活動に賛同してくれる近隣住民の方々がボランティアとして関わり新しい仲間となってくださいました。

これからも、行政や諸団体、地域の方々と共に働き、地域の課題に取り組んで参りたいと思います。

2022年度のあゆみ ～5. Change Agent～

余島ユースフォーラム 「キャンプ」という形式を生かす 体験と学問の融合

余島ユースフォーラムは今年で3回目の開催となりました。気候危機をテーマに、導入のための小レクチャー、木こり体験、そして体験の言語化と相対化（ディスカッション）、ワークショップを繰り返し、3泊4日のキャンプ生活を通して「体験と学問」の融合を図ります。

自意識の時代、人々は自己に埋没しがちです。フォーラムの目的の一つは、できるだけ早く参加者に「自分語り」から抜け出してもらうこと。そのためにあらゆる方策を取ります。自意識の檻から出て、いったん信頼（委ね合い）に開かれれば、そこから先は加速度的に濃密さが増し、関係性に重みが生まれます。そして享楽に巻き込まれると、まるで時間を感じなくなり、思考の渦に包まれます。

組織キャンプの雛形であるエンカウンターグループワークの手法を用いて設計された、体験と言語化の繰り返しによるセミナーを、こうして今の時代にフィットさせるには、綿密な体験デザインが必要です。木こり体験も、焚き火も、カウンスルファイヤーの語りも、人の意識と無意識、そして前意識のネットワークにアクセスする必要があるからです。

今回はテーマを「生態学的思考」にしました。自然生態系も社会も人の意識も、前提・被前提のネットワークによって不可逆的に構成されています。本気でこの社会に変革を起こしたいと願うなら、その存立構造を徹底的に理解することが必要です。キャンプ生活の隙間に世界からの訪れがやってくるようなセミナーを、今後も続けていきたいと思っています。



日常の平和、世界の平和

頌栄幼稚園の職員と保護者を対象とした平和プログラムを、神戸YMCAの職員が担当し実施しました。今回は「貿易ゲーム」というワークショップを通して世界の縮図を体験し、平和について考える機会が与えられました。

「世界の平和」と言う戦争がない、いじめがないなどといった漠然としたイメージが浮かび、自分ごととして捉えるのは難しいかもしれませんが、しかし、家庭の平和、幼稚園の平和を考えると、「みんなの笑顔」や、「違いを受け入れる」「相手を認める」などの具体的な行動が出てきます。日常の平和の積み重ねが、世界の平和に繋がっていることを信じたいと思います。

参加者の感想を、一部ご紹介いたします。「自分の意見と違う人を排除するのではなく、いろいろな意見を受け入れ、考えていく力が平和な世界をつくっていくのではと感じました」「不公平、不条理と感じることはたくさんありますが、その中でも幸せを創り出すことができるのは、乳幼児期からの愛に満ちた関わり、保育教育の中にこそあると思います」

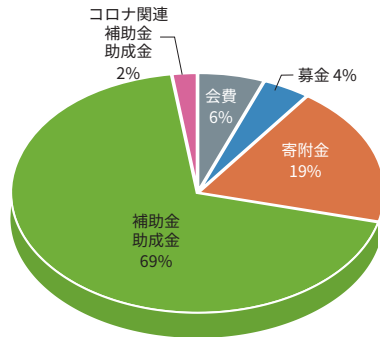


皆さまは、平和をつくるためにどんな行動を起こしますか？

2022年度 神戸YMCAファンドレイジング報告

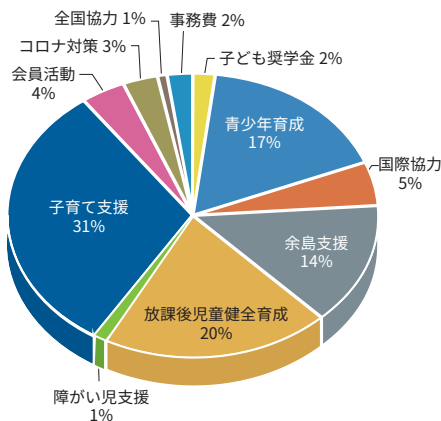
神戸YMCの使命である「すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創る」という活動は、広く社会から手を差しのべてくださる方々の会費や募金・寄附、補助金・協賛金などによって支えられています。

2022年度収入の部



	金額	内 訳
会 費	6,771,000	維持会費 賛助会費
募 金	4,430,053	国際協力募金 災害支援募金(ウクライナ支援、トルコシリア支援他)
寄 附 金	21,847,355	子ども奨学金のために(個人寄附他) 青少年育成のために(ワイズメンズクラブ他) プログラム・地域支援のために(日本語スピーチコンテスト、LD教育支援他) 余島支援のために(よしましよ他) 神戸YMCA運動のために(個人寄附、株式会社上組他)
補 助 金 助 成 金	78,406,432	私立専修学校専門課程振興費補助金・授業料等減免補助事業補助金 狂言助成金(兵庫県国際交流協会)・結核予防費補助金(神戸市) ユースプラザKOBÉ・EAST運営補助金 放課後児童健全育成事業補助金(神戸市) 学童保育補助金(神戸市) 小規模保育ルーム関連補助金(神戸市) サントリー余島キャンプ助成金 くすのき助成金(西宮市) まめの木補助金(西宮市) Challenged Children Program 助成金(日本YMCA同盟)
コロナ関連 補 助 金 助 成 金	1,676,920	小学校休業等対応助成金(兵庫県) 両立支援等助成金(兵庫県) 対策補助金(神戸市・明石市) 認定研修助成金(神戸市)
総 額	113,131,760	

2022年度支出の部



	金額	内 訳
子 ども 奨 学 金	2,517,765	経済的な理由でYMCAプログラムに参加が困難な子どもたちのために
青少年育成	20,060,377	ボランティアリーダー育成・派遣のために 指導者養成のために 神戸YMCA学院専門学校で学ぶ青年のために(学生支援・奨学金)
国 際 協 力	5,760,269	国際協力活動のために(東南アジア農村支援、国際活動リーダーシップ養成他) 災害支援のために(ウクライナ支援、トルコシリア支援他)
余 島 支 援	16,042,372	プログラム支援のために(one camp他) 余島プロジェクト(サントリーホールディングス株式会社との協働) 余島環境整備のために 他
放 課 後 児 童 健 全 育 成	22,975,604	放課後の子どもたちの居場所作りのために
障 が い 児 支 援	815,188	障がいのある子どもたちのために
子 育 て 支 援	35,833,480	地域の子育て支援のために(小規模保育ルーム等の運営)
会 員 活 動	4,937,588	神戸YMCA会員活動のために(YMCA大会、理事会、評議員会、常議員会、各委員会の開催、チャリティープログラムの開催、フォーラムの開催、神戸青年発行 他)
コ ロ ナ 対 策	3,234,609	新型コロナウイルス感染症への対応のために(感染症拡大防止対策 他)
全 国 協 力	767,200	YMCA全国協力のために
事 務 費	2,345,600	通信費、郵送費、印刷費等
総 額	115,290,052	

頂いた会費や募金・寄附金、補助金・協賛金で実施した活動報告

2022年度は、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、コロナ禍を経た「再出発」の1年でした。再起をかけた活動の多くが、たくさんの方々のご支援によって成り立ちました。後から振り返れば、重要な1年であったと回顧するでしょう。その中から青少年育成とキャンプ事業についてご報告します。

青少年育成とOne Camp

リーダー育成は、神戸YMCAにおいて最も重要な事柄です。「青年にあたたかい握手を」という村松吉太郎初代理事長の言葉は、今でもスタッフの間で語り継がれています。コロナの社会的混乱に正面から晒された大学生は、語り合い学問をする体験や、仲間ととことん議論し遊ぶ体験もままならないまま、ただ学年だけが上がっていきました。

そんな中、総勢150名を迎えて8月の余島で行われたOne Campは、大学生を中心に組織された実行委員会を中心に「失われたものの記述としてのキャンプ」を実現しました。キャンプでの体験が人々に良きものとして訪れるのは、その体験が社会で失われたからだと考え、毎月の実行委員会で「生きづらさの多様化」に向き合い、生きる座標によって弱き者が変わる社会で、人々は他者にどれくらい寛容になれるのかと徹底的に議論しました。

キャンプを作り上げる過程で、存在の重みづけがたくさん起こりました。コロナ禍だからこそ人間の尊厳について触れる体験の機会を、多くの方々に届けることができました。

木こり体験からはじまる「共同体」

2022年度神戸YMCAでは、しあわせの村と協働して森の学校、森のようちえん、森の親子を開催しました。キャンプ場周辺の森林を整備し、その間伐材で薪を作ります。月1回の活動は、朝会場にやってきて天幕を設置してから火を起こし、山の仕事に入るところから始まります。まるで細胞が「生活が遊びだったころ」を思い出していくように、子どもたちは森と、人と繋がっていきます。

これらの取り組みは「共同体支援事業」として、今後継承されていきます。共同体とは自生性と包摂性を条件とします。森のプログラムに集まった子どもたちの周辺で、「共に子を育てる」という意識が芽生えていきます。

コロナ禍は私たちに「このままでいいのか?」という生き方に対する問いを投げかけてくれました。多くの人々の支援が繋がり「この世界はそんなに捨てたものではない」という希望が、暗い時代に一筋の光を投げかけました。

すべての人々が「ひとりではない」と感じられるような社会へと、皆さまと進んでいきたいと思えます。ご支援に感謝して。

維持会員 入会のご案内

神戸YMCAは「私たちの使命」に基づき、世界や地域の抱える多様な社会的課題を解決するため、幅広い活動を展開しています。その活動を支えるのが維持会員です。維持会員はYMCA運動を支える母体として重要な役割を担っています。共に生きる平和な世界を実現するために、一人でも多くの仲間が必要です。ぜひYMCAの活動を維持会員として支えてください。

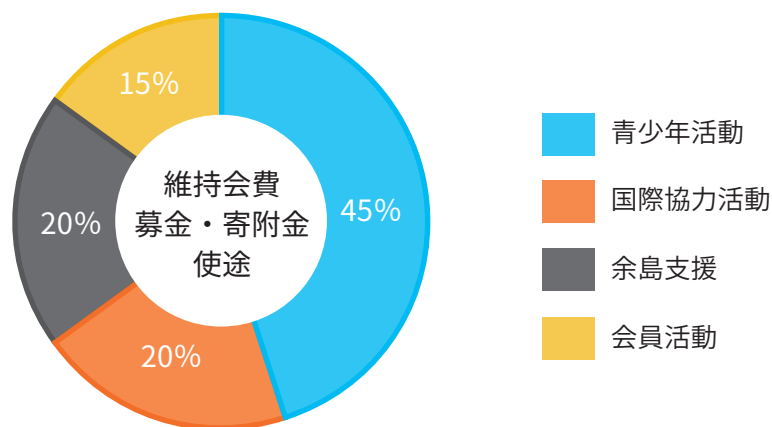
維持会員になっていただくと

- ・維持会費を通じて、神戸YMCAが行う青少年の育成や国際協力、地域奉仕活動を支援することができます。
- ・機関紙「TheYMCA」・「神戸YMCA YMCA News (神戸青年)」で、YMCAの活動やプログラムなどの情報をお知らせします。
- ・毎年開催する「神戸YMCA大会」など、神戸YMCAが主催するイベントにご参加いただけます。

入会方法

YMCAの活動に賛同してくださる方であれば、どなたでもご入会いただけます。

- ・維持会費 (年度毎4月～翌年3月)
 - 一口 5,000円
 - ◆ご支援いただける口数をお決めください。
 - ◆口数により維持会員としての条件が変わることはありません。
 - ◆神戸YMCA会員としての会費は寄附金扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。所得控除と税額控除のどちらか有利な方を選択することができますが、控除を受ける為の手続きとして確定申告が必要です。詳細は税務署にご確認ください。
- ・維持会費の使途
皆さまからいただいた維持会費、募金・寄附金は次の使途に用いられます。
 - ◆青少年活動 学生支援や奨学金など青少年育成、子ども奨学金、障がい児支援、など。
 - ◆国際協力活動 紛争・災害への支援活動、国際活動リーダーシップ養成、など。
 - ◆余島支援 余島キャンプ場で行うプログラム支援、ボランティアリーダー育成、環境整備費用、など。
 - ◆会員活動 チャリティープログラム、セミナー、会員による会議などの費用、など。



●お問い合わせ

メール kaiin@kobeymca.org

本部事務局 (078-241-7201) または各YMCA (P15各拠点案内) まで、お問い合わせください。

YMCAと共に歩む国際奉仕クラブ「ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部 部長 若林 成幸 わかばやし しげゆき

- ワイズメンズクラブ国際協会は、1922年に設立、昨年で100年の歴史を重ねました。世界には1500以上のクラブがあり、25,000人以上の会員がいます。日本では、1932年に日本区が設立され、1997年に東日本区と西日本区に分かれ、今年1月現在の現勢は、東日本区で59クラブ、775人、西日本区で75クラブ、1306人です。100周年の記念の記念事業は新型コロナの影響で1年遅れとなりましたが、今年2月には神戸で東西交流大会が、3月には台湾で世界大会が行われました。
- ワイズメンズクラブの活動は多面的です。昨年11月に行われた六甲部会(神戸・西宮・神戸西・神戸ポート・宝塚・神戸学園都市・芦屋の7クラブで構成)で発表された「ワイズメンズクラブの地域貢献事業事例」からそれぞれのクラブの活動ぶりを紹介しましょう。

活動区分	事業の内容	クラブ名
難病患者支援	難病患者いっくん支援	神戸ポート
子ども支援	WACCA シングルマザー支援 ネットワーク神戸 障がいのある方の就労支援 児童養護施設 真正塾 夏祭り支援 みどり作業所支援 キラリと輝くアート展 障がいのある方のアート・手芸作品を動画で配信	神戸、神戸西 神戸 神戸ポート 芦屋 六甲部
高齢者支援	特養オリンピア クリスマス祝会 はんしん自立の家 歌・フラ指導ほか	神戸ポート 宝塚
災害被災者支援	揚れ!希望の風 須磨海岸で 揚れ!希望の風 はんしん自立の家で 被災地と連携のチャリティーコンサート	神戸ポート 宝塚 神戸ポート
音楽交流	市民クリスマス～みんなでつくるOne Xmas 地域の音楽家による音楽ライブ公開例会	宝塚 神戸学園都市
環境	桜の若樹を植樹、ゴミ拾い 地域の自治会と合同で町内ゴミ拾い	六甲部 神戸学園都市
YMCAサポート	ベルマーク・絵本プロジェクト 留学生支援 食事パーティー コロナ禍、留学生アンケートをもとに支援 YYYフォーラム、チャリティーラン	六甲部 芦屋 神戸学園都市 六甲部



神戸YMCA賛助会

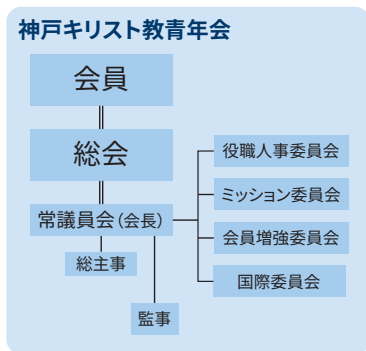
(敬称略・順不同)

神戸YMCA賛助会は、神戸YMCAが推進する青少年育成事業を財政的・精神的に支えてくださる多くの法人や団体で構成されています。多方面にわたるご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

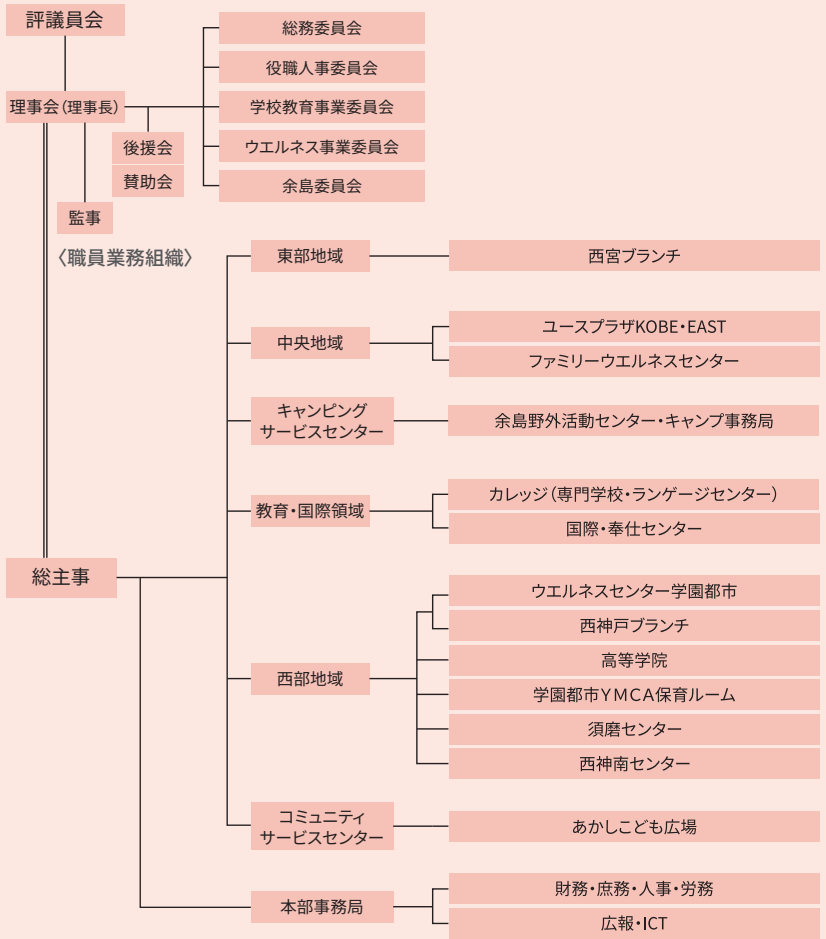
田中工業株式会社
株式会社竹中工務店神戸支店
有限会社クレセントインターナショナル
白鶴酒造株式会社
株式会社神戸風月堂
兵庫トヨタ自動車株式会社
株式会社ボンヌール写真室
生活協同組合コープこうべ
損害保険ジャパン株式会社
社会福祉法人光朔会オリンピア
有限会社わかばやし印刷
株式会社ジャパン・リリーフ

不二熱学サービス株式会社
神戸キリスト教書店
エム・シーシー食品株式会社
株式会社神戸ポートピアホテル
菱三印刷株式会社
株式会社ウイング
第一電子株式会社
有限会社イースター式典社
株式会社サンビルダー
神戸信用金庫
株式会社エーアンドディー設計企画
村田建設株式会社

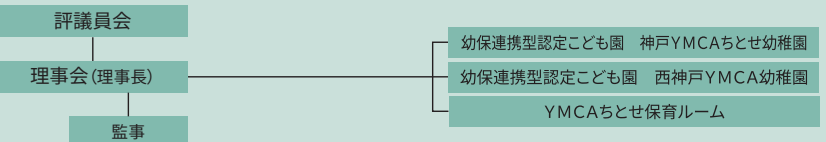
株式会社みなと銀行
小倉サンダイン株式会社
株式会社ホテルニューアワジ
株式会社ドコモCS関西神戸支店
早駒運輸株式会社
株式会社夢舞台
株式会社社長谷工シニアウェルデザイン
株式会社大林組神戸支店
大林ファンリティアーズ株式会社
総合警備保障株式会社



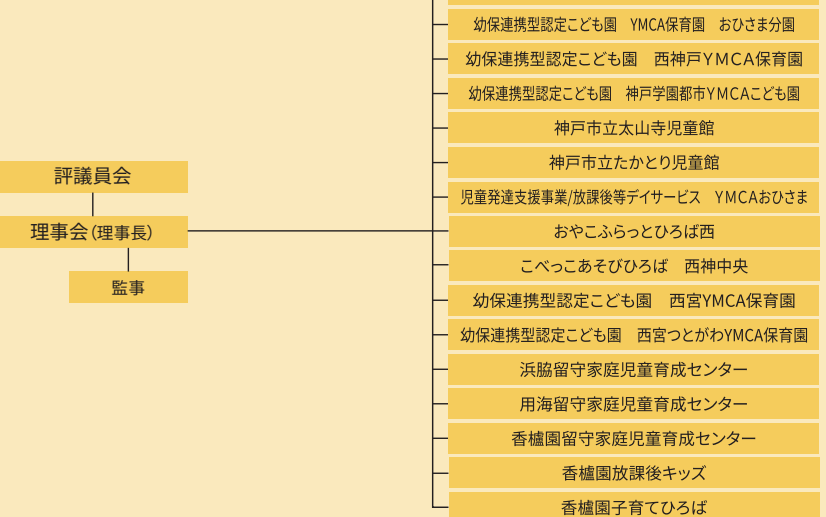
公益財団法人 神戸YMCA



学校法人 神戸YMCA学園



社会福祉法人 神戸YMCA福祉会



A. 公益財団法人 神戸YMCA会員状況

1) 会員種別 (2022年度)

維持会員 (うち総会構成員)	746 493
活動会員 (18歳未満)	4,227
活動会員 (18歳以上)	850
合計	5,077

2) 賛助会

賛助会	36
-----	----

3) 役員・指導者・職員

●役員 (2022年度)

公益財団法人理事	9
公益財団法人監事	2
公益財団法人評議員	11
名誉理事	2
学校法人理事	8
学校法人監事	2
学校法人評議員	17
社会福祉法人理事	6
社会福祉法人監事	2
社会福祉法人評議員	8
キリスト教青年会常議員	25
キリスト教青年会監事	3
事業委員	75
合計	170

●職員 (2022年度)

主事職	24
事務職	5
講師職	8
一般職	1
嘱託	8
嘱託専任講師	12
嘱託準専任講師	29
合計	87

(出向者除く)

B. 学校法人 神戸YMCA学園在籍者数

(2022年度)

ちとせ幼稚園	144
YMCAちとせ保育ルーム	14
西神戸YMCA幼稚園	252

●職員

主事職	4
事務職	2
一般職	0
教諭	30
嘱託教諭	18
嘱託職員	3
合計	57

C. 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会在籍者数

(2022年度)

YMCA保育園	166
西神戸YMCA保育園	84
神戸学園都市YMCAこども園	91
西宮YMCA保育園	70
西宮つとがわYMCA保育園	71
太山寺児童館・小寺コーナー	147
たかとり児童館	61
YMCAおひさま	63
用海留守家庭児童育成センター	128
浜脇留守家庭児童育成センター	128
香櫨園留守家庭児童育成センター	167

●職員

主事職	16
事務職	3
一般職	3
保育士・栄養士	104
嘱託	33
合計	159

レイパーソン (ボランティア役員)

(2023年4月1日現在)

■神戸キリスト教青年会

会 長	中道 基夫
副 会 長	清水 泰人
常 議 員	赤木 敏之 家山 華子 石井 恭子 井上 真二 岩井 義矢 鵜丹谷 剛 植村 篤子 小澤 昌甲 川崎 孝子 坂本 滋 末岡 成夫 長井 慎吾 西田 勉 馬場 一郎 馬場 貴英 東 恭子 秀平 悠磨 藤田 裕 前田 昌隆 松田 道子 美崎 晋 山本 俊正 吉田 昌義 監 事 上杉 徹 藤井 久子 安行 英文 ミッショナリー 有友裕美子 片岡 正義 西本 玲子 原 真和 藤井 久子 寺崎 真 村田奈緒美 会員増強委員 秀平 悠磨(副) 石井 恭子 上杉 徹 大野 勉 河野 彰 須貝 春香 松岡 寛 美崎 晋 国際委員 東 恭子(副) 坂西 卓郎 高月 渚 四宮 捷平 中尾 秀一 廣瀬 献児 細見 佑子 山内 慎平 Ronni Alexander 役職人事委員 中道 基夫 清水 泰人 井出 浩 川崎 孝子 井上 真二 小澤 昌甲 岩井 義矢 谷川 尚 西田 勉 松田 道子

ウエルネス事業委員

高見 彰(副) 小野 昌二 進藤 啓介 白坂 大輔
船越 達也 矢野 琢也
余島委員 川島 恵美(副) 荒木 真一 猪飼 政昭 鵜丹谷 剛 小栗 献 川島 憲志 島田 恒 坪松 博之 馬場 貴英
役職人事委員 中道 基夫 清水 泰人 井出 浩 川崎 孝子 井上 真二 小澤 昌甲 坂本 滋 松田 道子 西田 勉
総務委員 中道 基夫 清水 泰人 進藤 啓介 井上 真二

■学校法人 神戸YMCA学園

理 事 長 井上 真二
常務理事 岩井 義矢
理 事 上杉 徹 熊谷 親啓 鈴木 光子 原 寛 藤井 久子 山田 浩介
監 事 森 章一 中村 豊
評 議 員 熱田 大輔 井上 真二 岩井 義矢 上杉 徹 小澤 昌甲 兼田 幸子 熊谷 親啓 笹本 栄作 鈴木 光子 高田 裕之 高橋 秀典 原 寛 藤井 久子 柳本 有 山田 浩介 山ノ井景子 山本 義和

■社会福祉法人 神戸YMCA福祉会

理 事 長 井上 真二
常務理事 小澤 昌甲
理 事 丹家 元陽 橋本 明 吉田 昌義 植村 篤子
監 事 馬場 一郎 山ノ井景子
評 議 員 廣瀬 一雄 丹羽 和子 前田 隆 山口 幸 藤田 裕 清水嘉津子 布村 志保 柳谷 利起 井出 浩 松本 正史 倉石 哲也

■公益財団法人 神戸YMCA

理 事 長 中道 基夫
副理事長 清水 泰人
専務理事 井上 真二
常勤理事 松田 道子 西田 勉
理 事 川島 恵美 進藤 啓介 山形 謙二 川崎 孝子
監 事 山野 和彦 中尾 秀一
評 議 員 井上 和彦 小栗 献 坂西 卓郎 鈴木 光子 塚本 潤一 濱 浩一 松本 聡子 渡邊 智明 岩井 義矢 大塚 忍 古野 雅己
名誉理事 宮田 満雄 武田 寿子
学校教育事業委員 濱瀬真知子(副) 岩野 祐介 岩本 哲人 上谷 円 海老 直人 栗原 由香 土肥伊都子 中出 恵子 松本 聡子 西田 勉

中道 基夫 会長・公益財団法人理事長

(公財)日本YMCA同盟協議会	(神戸YMCA選出代議員)
(公財)日本YMCA同盟	(理事)
(学)御影教会学園群華幼稚園	(評議員)
(公財)神戸学生・青年センター	(理事)
(社福)聖和福祉会(聖和乳幼児保育センター)	(理事長)
(学)神戸平安教会学園(ランバス記念幼稚園)	(理事)
(社福)聖和共働福祉会(大阪聖和保育園)	(評議員)
(学)関西学院	(理事・評議員)
日本基督教学会	(理事)

武田 寿子 名誉理事

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・兵庫	(理事)
(社福)オリンピア	(理事)

水野 雄二 名誉主事

(学)頌栄保育学院	(理事)
(学)星陵学園	(理事)
(公財)PHD協会	(理事長)
(社福)神戸聖隷福祉事業団	(理事長)
(社福)神戸いのちの電話	(理事長)
日本キリスト教社会事業同盟	(副理事長)
(社福)夢工房	(評議員)

上杉 徹さん

(公財)日本YMCA同盟協議会	(神戸YMCA選出代議員)
-----------------	---------------

高月 渚さん

(公財)日本YMCA同盟協議会	(神戸YMCA選出代議員)
-----------------	---------------

井上 真二 総主事

<日本YMCA関係>

日本YMCA同盟協議会	(神戸YMCA選出代議員)
全国YMCA戦略会議	(委員)
日台YMCA連絡委員会	(委員)
国内協力委員	(委員)

<地域活動関係>

兵庫県青少年団体連絡協議会	(代表理事)
兵庫県「トライやる・ウィーク」推進協議会	(神戸YMCA代表)
フラワーロード沿道まちづくり協議会	(副会長)
神戸ロータリークラブ	(米山記念奨学会副委員長)
青少年育成全県スクラム会議	(委員)

<教育関係>

兵庫県教育委員会	(委員)
兵庫県地域留学生交流推進会議	(委員)
(公財)兵庫県青少年本部	(評議員)
神戸市社会教育委員会	(委員)
ひょうご不登校対策推進協議会	(委員)

<国際関係>

(公財)PHD協会	(評議員)
日本国際連合協会兵庫県本部	(常任理事)
(公財)神戸国際コミュニティセンター	(理事)
(公財)兵庫県国際交流協会	(理事)

<福祉関係>

(社福)神戸市社会福祉協議会	(評議員)
(社福)イエス団	(評議員)
(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団	(評議員)
(社福)神戸いのちの電話	(評議員)
(社福)光朔会	(評議員)
(社福)ひょうご障害福祉事業協会	(評議員)

小澤 昌甲 主事

(公社)神戸市私立保育園連盟	(理事)
(社福)神戸市西区社会福祉協議会	(監事)
(社福)松蔭ミカエル福祉会	(理事)
(社福)頌栄会	(監事)
神戸市西区善意銀行	(委員)
(財)あかしこども財団	(評議員)
生活協同組合コープこうべ	(理事)
(社福)聖ミカエル福祉会	(理事)
神戸市児童虐待・非行防止協議会	(委員)
賀川記念館コア100	(委員)
日本キリスト教保育所同盟	(監事)
兵庫県立伊川谷北高等学校	(評議員)
学園東町ふれあいのまちづくり協議会	(顧問)
学園西町ふれあいのまちづくり協議会	(顧問)
学園都市・太山寺青少年育成協議会	(顧問)
全国YMCAチャイルドケア部会(教育保育部会)	(役員)

松田 道子 主事

日本YMCA同盟・国際協力委員会	(委員)
コープともしび財団	(理事)
(公財)ひょうごコミュニティ財団	(評議員)
(一財)コープこうべ奨学金財団	(理事)
(公財)神戸学生青年センター・六甲奨学金	(運営委員)

西田 勉 主事

(社福)兵庫県社会福祉協議会	(理事)
(社福)兵庫県共同募金会	(評議員)
(公財)こうべ市民福祉振興協会	(理事)
「人・まち・つなぐ」中央区協働助成委員会	(委員)
海外災害援助市民センター(CODE)	(理事)

谷川 尚 主事

西宮市子ども・子育て会議	(委員)
神戸市発達障害児(者)支援連絡協議会	(委員)
神戸市発達の気になる子どもの支援体制検討会議	(委員)
全国YMCA発達支援事業部会	(役員)

小寺 隆志 主事

神戸市青少年育成協議会	(委員)
-------------	------

藤田 良祐 主事

(学)御影教会学園群華幼稚園	(理事)
----------------	------

山田 浩介 主事

神戸市立高倉台小学校	(評議員)
(学)星陵学園	(評議員)

阪田 晃一 ディレクター

兵庫県キャンプ協会	(理事)
(一社)Wilderness Education Association Japan	(理事)
NPO法人Leave No Trace Japan	(理事)

中道 愛子 ディレクター

兵庫県ユニセフ協会	(理事)
-----------	------

坂本 庸秀 主事

(学)星陵学園	(監事)
---------	------

三島 浩司 主事

(公社)神戸市私立保育園連盟	(委員)
兵庫キリスト教保育園協議会	(委員)

神戸YMCA活動拠点



神戸YMCA三宮会館
(本部事務局)
神戸YMCAカレッジ
(専門学校、ランゲージセンター、国際・奉仕センター)
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
☎(078) 241-7201 (本部事務局)
(078) 241-7203 (神戸YMCAカレッジ)



**神戸YMCAファミリー
ウェルネスセンター**
〒651-0072
神戸市中央区脇浜町2-10-21
☎(078) 241-7202



西神戸YMCA会館
(ウエルネスセンター・学園都市、西神戸YMCA)
神戸YMCA高等学院
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 793-7401
(ウエルネスセンター・学園都市)
☎(078) 793-7402 (西神戸YMCA)
☎(078) 793-7435 (神戸YMCA高等学院)



**学園都市YMCA
保育ルーム**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 794-3045



余島野外活動センター
〒761-4100
香川県小豆郡土庄町字余島
☎(0879) 62-2241
キャンプサービスセンター
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
☎(078) 241-7216



**西宮YMCA
西宮YMCA保育園**
〒662-0977
西宮市神楽町5-23
☎(0798) 35-5987
(0798) 35-5992 (保育園)



**西宮つとがわYMCA
保育園**
〒663-8233
西宮市津門川町2-14
☎(0798) 26-1016



**須磨YMCA
神戸YMCAちとせ幼稚園**
〒654-0081
神戸市須磨区高倉台4-12
☎(078) 734-0183
(078) 732-3542 (幼稚園)



YMCAちとせ保育ルーム
〒651-2103
神戸市西区学園西町4-1
神戸留学生会館内
☎(078) 786-3821



**西神戸YMCA
西神戸YMCA幼稚園**
〒651-2243
神戸市西区井吹吹西町4-5
☎(078) 993-1560
(078) 997-7705 (幼稚園)



YMCA保育園
〒651-2103
神戸市西区学園西町5-4
☎(078) 794-3901



**YMCA保育園
おひさま分園**
〒651-2103
神戸市西区学園西町7-2-1-101
☎(078) 794-4080



西神戸YMCA保育園
〒651-2103
神戸市西区学園西町1-1-2
☎(078) 792-1011



**神戸学園都市YMCA
こども園**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 791-2955



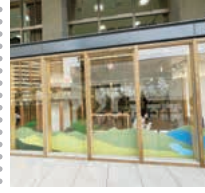
**児童発達支援事業/
放課後等デイサービス
YMCAおひさま**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 793-9077



神戸市立太山寺児童館
〒651-2103
神戸市西区学園西町5-2-3
☎(078) 794-4790
(指定管理者)



**神戸市立たかとり
児童館**
〒654-0037
神戸市須磨区行平町2-2-17
☎(078) 735-6230
(指定管理者)



**おやこふらっと
ひろば西**
〒651-2273
神戸市西区糀台5-4-1
神戸市西区役所3階
☎(078) 939-4530
(運営主体)



**こべっこあそびひろば
西神中央**
〒651-2273
神戸市西区糀台5-6-1
西区文化センター1階
☎(078) 964-5808
(指定管理者)



あかしこども広場
〒673-0891
明石市大明石町1-6-1
パピオスあかし5階
☎(078) 918-6371
(コープこうべと共同)



**ユースプラザ
KOBE・EAST**
〒658-0054
神戸市東灘区御影中町3-2-1
御影クラッセ4F
☎(078) 891-8222
(運営主体)



**西宮市香櫨園留守家庭
児童育成センター**
〒662-0952
西宮市中浜町3-32
☎(0798) 33-0214
(指定管理者)



**西宮市用海留守家庭
児童育成センター**
〒662-0921
西宮市用海町3-54
☎(0798) 35-1522
(指定管理者)



**西宮市浜脇留守家庭
児童育成センター**
〒662-0941
西宮市浜脇町5-48
☎(0798) 34-1444
(指定管理者)



YMCAとは

世界120の国と地域でおよそ6500万人の会員を有するNGO
(非営利組織)です。

日本のYMCAは、全国35都市、200を超える拠点で14万人が
参加し、自らの学びや健康、社会課題の解決のための様々な
活動を行っています。

あらゆる年代・性別・宗教の人々と「互いを認め合い、高め合う
ポジティブネットのある社会を創ること」を目標としています。

神戸YMCA

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11